

12月4日、オーストラリアのカジョリーナシニアカレッジ（以下CSC）から16名を秦野高校にお迎えしました。秦野高校生徒会、英語同好会、弓道部、茶道部が中心となってCSCのみなさんをもてなしました。

CSCは、オーストラリア北部ノーザンテリトリー州の州都ダーウィンにあります。12月現在、季節はもちろん真夏。熱帯気候、毎日気温35℃程度、湿度も高いそうです。当日は、あいにくの雨で、我々日本人にとっても寒かったのですが、初めて日本に来たオーストラリア北部の人には、この寒さはきつとつらいに違いない、と思っていたら…ずいぶんと薄着でした。「快適！」の声も。

開会式では、英語同好会の野口さんの司会のもと、アンドリュー先生（体育科専門）からのご挨拶。日本語で準備されたようです。各生徒さんも、日本語で、名前や趣味などを自己紹介しました。日本の歌手や漫画も良く知っています。日本語が結構話せる生徒さんも。CSCには、日本語の選択授業もあります。今回、秦高に来る前に、日本語授業の生徒さんたちとインターネットで交流を行っていました。その中のメンバーもいました。本校からは、神



戸校長、生徒会長の飯田さんが英語でばっちり挨拶しました。



いよいよ、茶道と弓道体験へ。

茶道部は、毛氈（もうせん）を敷き、出入り口ののれんをかけ、お出迎えました。CSCのみなさん、初めての「正座」です。中にはちょっと痺れた人も。お茶は苦かったみたいですが、「和」の雰囲気を感じてくれたでしょうか。

弓道部では、最初に、弓道について説明をしました。納射、座射を行いました。弓道の朝倉先生から「和弓」と「アーチェリー」の違いを説明してもらいました。弓の大きさだけでなく、構え方から違います。CSCの生徒も、秦高生も、弓を引く強さを体感しました。アンドリュー先生はアーチェリーも教えており、生徒の中には、実際に弓を使ったハンティングをしたことがある生徒も！



あっという間に、閉会式に。同好会の下館さんが司会を行いました。ミニパーティーを行い、本校生徒諸君もだいぶ打ち解けて話せるようになってきました。カンガルーやコアラのグッズ、アボリジニにちなんだものなど、素敵なお土産をたくさんいただきました。

生徒の感想より～

・最初は緊張して、笑いあうことしかできなかったけれど、弓道部を見に行ったあたりから、会話をするのができてうれしかったです。言いたいことがうまく英語にできないこともありましたが、ジェスチャーや単語を言えば会話が成立しました。このような体験をしたのははじめてだし、普通はできないことなので、すごく良かったです。私も来年の夏にオーストラリアに行きたいと思いました。もっとたくさん交流がしたいです。

・同年代で違う国に住んでいる人と話したりすることは、自分にとっては貴重な体験だったと思います。知識としてオーストラリアについてわかっているけど、実際にその国の人と会ってみないとわからない部分がたくさんあるとも感じました。カンガルーを食べちゃうこととか。

・最初はとても緊張してしまい、言いたいことが英語ででてこなかったり、何を話したらいいかわからなくて戸惑ってしまいましたが、時間がたつにつれ、単語だけでしたが、出てくるようになったのでよかったです。またぜひ参加したいですし、今度は私がオーストラリアに行って、もっと多くの人たちとおしゃべりしたい！と思いました。

・アニメや漫画や空手、カラオケ、、、いろいろな日本の文化が届いているのがわかってとても面白かったです。国が違えど、世代が同じなら好きになるものが似るんだなぁと思いました。

・日本の文化があそこまで海外に浸透しているとは思いませんでした。今回は何てしゃべったらいいかわからずそしてちゃんと聞きとることができなかったのも、もっともっと英語を勉強して、しっかり会話できるようにしたいです。またこういった機会があれば、次は私たちがオーストラリアに行きたいです。とっても楽しかったです！！



See you soon!



カジョリーナシ

<http://www.casuarinaseniorcollege.com.au/>